



TITLE:

雜録

AUTHOR(S):

---

CITATION:

雜録. 日本外科宝函 1930, 7(4): 609-618

ISSUE DATE:

1930-07-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/200556>

RIGHT:

## 雜 錄

### 一ツノ論文ヲ書キ上ゲルマデ

村 上 徳 治

一ツノ論文ヲ書キ上ゲルマデ誰デモガ經驗スルデアラウ平凡ナオ話ヲシテ故伊藤隼三先生ヲ偲ブ思ヒ出話ノ一ツトシタイト思ヒマス。モツトモコノ思ヒ出話ヲ書カウトイフ動機ハ勿論募集ニ應ジタノ一ハ違ヒナイノデスガ年モオシセマツタ今夜年賀狀デモ書カウト思ツテ今年中ニ貰ツタ澤山ノ手紙ヲ繰ツテキルウチニ故先生カラノモノガ出テ來タノデス。ソレハ簡單ナ年賀狀デアツタノデスガ正シク先生ノ肉筆デ尻ヲ少シ長ク引イテハハネル癖ノアルモノデシタ。私ハコノ風ガハリナ文字ニ興味ヲ感ジテキマシタノデ私ニトツテハ先生ノ絶筆デモアルコノ手紙ヲ大切ニトリノケテ他ハミンナ過去ヲアツサリト葬ル意味デセイセイシタ氣持デオシカタヅケテシマツタノデスガ、コノ時私ノ書齋ニ懸ケテアル先生ノ寫眞ヲカヘリミテ轉タ感慨無量ノアマリ筆ヲトツタワケデス。

私ノ書イタ最初ノ論文ノ一ツニ肛門括約筋ニ就イテ述ベタモノガアリマスガ、ソレハ私が陸軍カラ大學院學生トシテ教室ニ入ルヤウニナツテ伊藤先生ニ貰ツタ Thema ノ最初ノモノデ且ツ最後ノモノダツタノデス。

4月ノアル朝ノコトデシタ。私ハ圖書室ノ大キナ机ニ向ツテ讀書シテ居ラレタ伊藤先生ノ前ニ呼バレマシタ。ドウイフワケカソノ頃ノ私ハ伊藤先生ニ對ツテキルト大學生デアツタ頃ト少シモカハラヌキマジメナ氣持ニナルノデシタ。否コノ書生氣質ハ今デモアマリ變ツテハイナキノデス。ソコデ只今先生ノ前ニコウシテ立ツテ見ルト自ヅカラカタクナツテシマウノデシタ。私ハ默ツテオ辭儀ヲシマシタ。先生ハ讀ミサシノ書物ノ上ニ手ヲ置イタ儘ロクロク私ノ顔モ見ズニ言ハレマシタ。

「アナタ論文ヲ書イテ見ルンデス」

私ハ論文ヲ書クノダト聞イテ一種異様ナ緊張ヲ覺エマシタ。

「ハイ！」

ト答ヘテ命ズルママニ椅子ニ腰ヲオロシマシタ先生ハアル疑惑ニトラハレテキルヤウデシタ。ソシテ少シク口早ニ半バ獨リ言ノヤウナ口調デ申サレマシタ。

「Incontinentia alvi ガドシナヤウニ Operation ト關係ガアルカガ問題ニナツテキルンダガ…………… Quergestreifte Muskel ト glatte Muskel トハ元來生理的ニ Natur ガ違ツテキル……………」

ソレデ internus ヲ切ツテシマツタ時ト externus ヲ切ツテシマツタ時トハ同ジデアル答

ガナイ……………」

「……………」

私ハ先生ノオツシヤルコトヲ默ツテ聞イテキマシタ。説明ガ終ルト先生ハ Matti 氏ノ Original ノ載ツテキル Deutsche Zeitschr. f. Chirurgie 1冊ヲ私ニ渡シテ立チ去ラレマシタ私ハホツトシテ先生ノ後姿ヲ見送ツテキマシタガ、先生ガドアヲ閉メテ見エナクナルト一種ノ不安ヲ感ジマシタ。ソレハ先生ガアレホド詳シク説明サレタノニモ拘ラス獨リニナツテ見ルト意味ガトントワカラナイヤウナ氣持ガシタノデス。ソレハ其當時ノブーナ私ノ學力ノセイデモアツタノデスガーツハアマリカタクナリ過ギテシマツテキタデモアツタコトヲ白狀セネバナリマセン。ナゼ質問ランシナカツタノカ。今サラ先生ノアトラ追ツカケルワケニモイカナカツタノデス。

フト氣ガツイテ見ルト窓ノ机ノ隅ノトコロニ先輩デアル澤井サンガ勉強シテ居ラレマシタ。コノ親切ナ先輩ヲ見ツケタ時再ビホツトシタノモ無理カラヌコトデシタ。私ハ恥モ外聞モ忘レテ傍ヘ行クナリ突拍子ノ聲ヲ出シテ言葉ヲカケマシタ。

「先生ハ今何ヲ言ハレタノデスカ？」

自分ニ言ハレタコトヲ他人ニ聞イテキルノデスカラ澤井サンハ妙ナ顔付ヲサレマシタ。  
シカシ直グサマ

「イイ問題ダネ、君！」

何サ！ Sphinkter ライロイロ切ツテ見ルノサ」

直下ニ Untersuchungsmethode ヲ教ヘテ呉レマシタノデ偉イモノダト感心シマシタ。

ソレカラ私ハ直チニ先生ノ置イテ行カレタ書物ヲ讀ミ始メマシタ。ソレハ6・70頁モノ大論文デ、コウシタ論文ヲ始メテ讀ム私ハ Einleitung カラ丁寧ニ讀ミ始メマシタ。讀ンデキルウチニ獨リデウナヅイテキマシタ。ナルホド澤井サンノ言ツタ通りダト合點スル、ナルホド先生ノ言ハレタ通りダトボツボツ先生ノ言ハレタコトガ始メテ思ヒ出セルヤウニナリ、時ノタツノモ忘レ、晝食モ食ベズニ書物ニカゼリツイテキマシタ。モハヤ圖書室ニハ誰モ居リマセンデシタ。ソコヘ再ビ先生ガ入ツテ來ラレマシタガ今度ハニコニコシテナレシク言葉ヲカケルノデス。ドコトナクハレバシタ氣持デ。

「アナタモ二食主義ナンデスカ」

「ハイ、二食主義デハナインデアリマス。」

私ハ陸軍式ニ起立シテタチドコロニ正直ニ答ヘマシタ。先生ハ相カハラス嬉シソウニサツキノ問題ヲ始メル準備シテ先ヅ解剖學教室デ局所解剖ヲ實習スルヤウニ言ハレマシタ。私ハアトデ先生ガナゼアンナニ満足サウニシテ居ラレタノダラウト考ヘテ見タリシタノデスガ其時ノ先生ノ氣持ハハツキリワカリマセンデシタ。モツトモ先生ガ二食主義デア

ツタコトハ知ツテキマシタ。先生ノ大キナ人格ノウチニ起ツテクルヨロコビハ結局不可解ナモノデシタ。

其後Originalヲ熟讀頑味スルノニ10日許モカカツタヤウニ記憶シテ居リマスガ暇ガアルト解剖學教室ヘ行キ、足立教授カラ許可サレタ屍體ニツイテ局所解剖ヲ實施イタシマシタ。其頃ノヤウニ希望ニ滿チ滿チ氣持デ居ツタコトハアリマセン。私ハ何ダカ寶物デモ懷ニシテキルヤウナ氣持デ歩イテキマシタ。春ノ日ガ麗カニ輝イテ、ホカホカシタ氣分ニナルト午後ハ早く散歩ニ出カケル者モアリ、ベースボールヤテニスニ熱中シテキル者モアツテ時ニハ研究室ガ全クガラ空キニナツテシマツタ。ソナ時デモ獨リ小室デ解剖ヲヤツテキルトヒトカドノ學者ニナリスマシタヤウナ嬉シイ氣持ニナリ、全クノ自由意志ニヨツテ貴イ研究ニ没到シテキルトイフ落ツイタココロモチ、長イ學生生活ノウチニホントウニ天下晴レテノ自由ヲ勉強ヲ見出シ得ナカツタ私ハ何カ發見デモシタヤウニ眞ノ akademische Freiheit ハココニ存在シテキルノダト叫バザルヲ得ナカツタノデス。

其後一通リノ準備ガ出來、プランヲタテテ先生ニ話シマシタラ大層ヨロコバレマシタ。

「動物ハ何ヲツカウカナ」

「ハイ、犬ヲツカハウト思ヒマス」

「デハアト3月カカレバ出來ルカラソウイフコトニ約束スルデナ」

「……………」

私ハ3月ト言ハレテビツクリシテシマイマシタ。先生ノ言葉ハ3月トイフトコロニカヲ入レラレタ。カヘス言葉モナクテ約束シテシマツタノデソレカラトイフモノハ自由ヲ勉強ナドト天下泰平ニ暮スワケニハイカナクナリマシタ。

「君等ノ時代ハデキ去ツテシマウデナ」

イツカコンナコトモ言ハレテチラト脱マレマシタ。コウナツテクルト道ヲ歩イテキテモ氣ニナリ、電車ニ乗ツテキテモ思ヒツイタコトヲ手帳ニ書キトメタリ夜ハオソクマデ勉強イタシマシタ。シカシ實驗ハ思フマニハイカズ、燒ケツクヤウナ眞夏ノ炎天下ニサラダダニ瘦セ衰ヘタ犬ヲ追ヒマハシテキルミジメサ。ソノ上實驗ノ成績ガマチマチデ五里霧中ニ迷ヒ込ムトマコトニ氣ガイライラシテシマウノデアリマシタ。アル時ハ友人ニ話カケラレテモ返事ヲシマセンデシタ。マタアル時ハ氣ノキカス小使ヲシカリトバシマシタ。ソシテトウトウ實驗ヲ一時中止シテシマイ徐ロニ書物ヲ讀マウト思ツテモウ一度圖書室ヘタテ籠ルコトニシマシタ。實驗中ノ犬ハソノウチニ死ンデシマツタリ、逃ゲテシマツタリシマシタガチツトモ惜シイトハ思ヒマセンデシタ。シカシ文獻ヲアレカラコレヘトアサツテキルウチニドウヤラ自信ヲモツテ言ヘルヤウナ etwas ガ思ヒアタルヤウニナツテ來マシタ。

アル夜アノ廣イ圖書室デタツタ獨リデ讀書ニ耽ツテキル時アル神秘的ナ雰圍氣ニトヂコメラレテキタコトヲ思ヒ出シマス。私ノ心ハ細イ絹糸ノヤウナー路ヲ辿ツテキマシタ。ソシテ其尖端ハ極メテ微妙ナ動搖ヲモツテキル。私ハ今其尖端ヲ凝視シテキルノデシタ。聞トシテ聲ナキ大堂ノウチニアツテハ人間ノ意心ハ無聲ノ響ヲ聞キワケルコトガアリマス。アルヒハ氣ノセイデモアツタデセウ、私ノ全身ハソノ尖端カラ放ツアル一ツノ響ニ集中サレテキマシタ。誰カソノ時ノグロテスクナシーンを見デキタトシタラ正シク私ヲ精神病者ダト言ツタデセウ。

一ツノ響！ ソレハ次ノヤウニ響イテクル。

「ソレハオマヘガ實驗シテ反古ノヤウニ捨テテシマツタ動物ガチヤント教ヘテキタデハナイカ。オマヘハマダソレニ氣付カナカツタノカ。無學ナル者ヨ！」

ヤガテ蠅魚クサイ書架ノ一隅ニミシリト音ガシタカト思フト幻想ハフツト吹き去ラレテシマイマシタ。シカシアノ一ツノ響ハ鼓膜ニハ響カナカツタモノニハ相違ナイノデスガ、ムセウニ嬉シクナツテ再ビ實驗シテ見ヤウトイフ勇氣ヲ與ヘテ呉レタノダシタ。私ハコノ深夜ニフト笑ヒ出シタクモナツタノデスガ皮肉ニモフアウストノ舞臺面ガ聯想サレタノデス。狹イゴシツク式ノ室ノ高イ圓天井ノ下ニ坐ツテ悲嘆ニクレテキルフアウストハコウイフ。

「ハテサテ、己ハ哲學モ

法學モ醫學モ

アラズモガナノ神學モ

熱心ニ勉強シテ底ノ底マデ研究シタ

サウシテココニカウシテキル。氣ノ毒ナ。馬鹿ナ己ダナ」私ハフタタビ滅入ツテシマツテ反問セザルヲ得ナカツタノデス。

「無學ナル者ヨ ト呼バレタ己ガコレカラ熱心ニ勉強シテ底ノ底マデ研究シテイカウトイフノカ。フアウストガ聞イテアキレルドラウ」

ト自ラアザ笑ツテモ見タノデスガ現實ニ立テル私ハ結局一心不亂ニ勉強スルヨリホカナカツタノデアリマス。

9月ノアル木曜日ノ午後デシタ。丁度先生ノ臨床講義ノ時間デシタガ私ハ手術室デアアル手術ノ助手ヲシテ居リマス。伊藤先生ノオ呼びダトイフノデ隣リノ東大講堂ヘ參リマス。先生ハ講義ノ半バカラ私ニ呼びカケマシタ。

「アンタノヤツテキタ問題ドウナツタナ」

學生ハミンナ私ノ方ヲ見マシタ。私ハ急ヲ喰ツテ當惑シタノデスガ直ゲニ答ヘマシタ。

「Sphincter ani externusヲ totalニ切ツテシマイマス ト……………」

スルト先生ハ一々コレヲ學生ニ向ツテ繰リカヘシ講義ヲサレマシタ。

ソレカラ數日ノ後先生ハ私ノ原稿ヲ貰ハウト言ヒ出シマシタ。シカシ實ノトコロ原稿ハチツトモ書イテハキナカツタノデス。ソレデマダ出來上ツテ居リマセント申シマシタトコロ「デハ此次ニ會ツタ時貰フコトニスルデナ」

ト言ハレマシクノデコウナツテハ出來上ルマデ先生ニ會ハナイ工夫ヲスルヨリホカナカツタノデス。シカシナガラ同ジ教室ニ居ルコトデアレバ絶対ニ會ハナイワケニハカズ、幾度カ催促サレマシタ。トウトウシマヒニハ先生ハ私ニ會ウト默ツテ手ヲ出サレル、私ハ默ツテ頭ヲ下ゲル。ソレガ全ク一種ノ習慣ノヤウニナツテシマイマシタ。アル日廊下デ會ツタ時ナドハ5・6間サキカラ手ヲ出シタテ來ラレル、ソシテソノ儘行キ過ギル。私ハソツト振り反ツテ見ルト先生ハ手ヲ出サレタママ2・3間行キ過ギタカト思フトソノ手ハイツノ間ニカ無意識ニ廊下ノ壁ヲ傳ツテキマシタ。ソシテ先生ノ通ツテ行カレル全廊下ノ壁板ガカラコロ、カラコロト音ヲ立テテキルノデシタ。壁ガナクナルト先生ノ指ダケガウゴイテ空ヲハダイテキマシタ。ソレデモ先生ハマダカラコロ音ヲ聞イテデモキル積リノヤウナ足ドリデ歩イテキマシタ。先生ハ廊下ヲ歩カレル時必ラス壁ヲハヂク癖ガアツタノデシタ。

私ハ患者ノ診察ヤ手術ヲ他ノ副手ト同ジヤウニヤラネバナナラナカツタノデアノ小サナ論文デモ1ケ年ホドモカカツタノデス。ソレデモ書キ了ツタ時ノ嬉シサハタトヘヤウモアリマモンデシタ。最後ノ1頁ガ濟ムトソノ日ノウチニ調べテ先生ノトコロヘ急ギマシタ。先生ハ何トモ言ハズニ受ケトリマシタガ1週間ホドシテカラカヘンテクレマシタ。ソノ時私ハ圖書室ニ居リマシタガ先生ハ無愛想ナソブリヲシテ申サレマシタ。

「アンタ論文ハ自分ノヤツタコトダケ書クンデス。イラナイコトハ書カンデアリマス」開ケテ見ルト至ルトコロガマツ赤ニナツテオリ、消サレタリ、書キ入レタリ、誤字ノ訂正假名ヅカヒノ訂正、文章ノ訂正、トマコトニ念ノ入ツタモノデシタ。最後ノ文獻マデニ手ヲ入レ、ソレニハ雑誌ノ頁數ガ書キナホサレテアルノガアリマス。

「文獻ニ誤ガアルト本文ガアヤシマレルモノダ」

ト言ハレトウトウ文獻トシテアゲタ雑誌ヲ先生ノ前デー々トリ調べサセラレマシタ。私ハコノ時先生ノ強い責任觀念ニ心ノ底カラ感激シテシマイマシタ。ソシテ論文ハ私ダケノモノデハナイノダツタト思ヒマシタ。ソウダ先生ノ名ニカカハルモノナノデアツタト考ヘタ瞬間ニ何トナクオワビヲシナケレバナラスヤウナ氣持ニナリマシタ。私タチニツラクアタルノモ將來ヲ思ツテ下サルカラナノダト氣ガツキマシタ。私ハ今夜コウシテ先生ノ思ヒ出ニ耽ツテキルト混沌トシテ捕捉シ得ナカツタ偉大人人格ニ又モ壓倒サレルヤウナ氣持ガイタシマス。イヤ全ク今デモ先生ハ一タイドコガ偉カツタノダラウト言ハレテモ答ヘルコトガ出來ナイノデス。アリシ日ノ思ヒ出ハ早馬燈ノヤウニ心ニ浮ンデ來マス。アル時ハ

愚弄サレ或時ハ皮肉ヲ言ハレ、或時ハ意地フルク叱ラレマシタ。コウイフコトニカケテハ先生ハ全ク傍若無人デアツタヤウニモ思ハレマス。ドウカスルト皮肉ハ先生御自身ガ面白ガツテキルヤウデシタ。

アル時腸管切除術ヲヤツテキルト

「アンタ肉眼デ微菌ガ見エナイヤウデハ手術スル資格ガナイデアリマス」

ト言ハレ、又アル時ハ一度ツカンダコツヘルヲ覆布ノ上ニ置イタコロ

「アンタコレハコウスルンデス」

トイツテ其コツヘルヲ不潔槽ノ中ニ投ゲ込マレマシタ。

ヘルニアノ手術ヲシテ8日目ニ抜糸シテ其日ノ記載ニ Entfaden ト書イテオイトコロガ廻診ノ時ニ

「ワルイマネハヨスンデス」

ト言ハレテ鉛筆ヲ出サレテ Faden entfernt ト書き直サレマシタ。私ハアトデ辭解ヲヒイテ見タノデスガ entbänden トイフ字ハ見ツカリマセンデシタ。

アル婦人ガ肋骨カリエスデ入院シテ來タノデ手術ノ豫定ニシテキタコロガ廻診ノ日ニ胸部ヲ綿密ニ聽診サレタアトデアノ皮肉ナ相恰デ暫ク私ヲミツメテキマシタガ

「アンタ病氣ヨリハ命ノ方が大切デス」

ト言ツテ手術ヲ取り消サレマシタ。患者ハ手術ニヨツテ肺ノ病態ヲヨリ悪クスルオソレガアツタノデシタ。

コウシタイロイロナ言葉ヤ態度ニ私タチハ一種ノシヨツクラ感ジタモノデシタ。針デ刺スヤウナ言葉！ エモ言ハレヌ皮肉ナ態度！ ソレハハミンナ先生ノ慧眼ニ映ジタ誤謬ガ直截ニ判斷サレタ時ニ發スルモノデシタ。ソレハ相手ノ反省ヲ促サズニハオカナカツタノデス。

偕テ私ノ1ツノ論文ガ出來上ツタ頃先生ハ停年ノ故ヲ以テヨイヨ學校ヲ勇退サレルコトニナリマシタ。

初夏ノスガスガシイ風ガ薫ル頃デシタ。先生ノ門下一同ハ平安神宮ニ會シ盛大ナル園遊會ヲ催シテ先生ヲ送ルコトニナリマシタ。アノ美シイ池ノ中ノ島デ鳥瀉教授ハイトモシメヤカニ謝恩ノ辭ヲ述ベラレマシタ。私ハ先生ノ席カラアマリ遠クナイトコロニ席ヲ占メテボカントシテキタヤウナ氣ガ致シマスガソレデモアノ熱ノコモツタ師恩ノ説ヲ聞イテキル時ハエマーソンカーライルカノ演説デモ聞イテキルヤウナ陶然トシタ心持デアツタコトヲ忘レルコトガ出來マセン。教授ノ辭ガ終ル頃デシタ。フト氣ガツイテ見ルト伊藤先生ハ涙潸然トシテ流れ、歎歎ノ聲スラ聞エテ來タノデアリマシタ。私ハコノ時始メテ我ニカヘツタヤウニ惜別ノ情ガ衰然トシテコミアゲテ來タノデアリマス。

私ノコノ日ノイデタチハソノ頃ノ私ニトツテハナカナカ振ツタモノデシタ。コノ園遊會  
 =是非間=合ウヤウニト思ツテ新調シタフロツクコート=山高ヲカブツテ恰モ Del ami  
 ノ中ニ出テクルデュロワノ氣取ツタ姿デモ思ヒ出スヤウナモノデシタ。私ハコノ日始メテ  
 フロツクコートトイフモノヲ着タノデスカラ無理モナイコトデアツタノデス。シルクハツ  
 トデナカツタノガマダマシデシタガソレデモアノ堅イ帽子ガシツクリトシマセンデシタ、  
 園庭ノ彼處此處ニハ三三、五五相連レダツタ紳士ガソレソレニ着ナレタ格恰デフロツクヤ  
 モーニングヲ着テキマシタ。シカシ書生ボウノヤウナ私ガコウシタスタイルデ先生ノ前ニ  
 出ルノガ恥シイヤウナ氣モイタシマシタ。デモ今日ダケハ眞ツ先キニ先生ニ挨拶シヤウト  
 思ツテ傍ヘ寄り元氣ヨク言葉ヲカケマシタ。

「先生！ 御機嫌ヨロシウ」

「……………」

先生ハコノ時他ノ先輩大家連ニトリマカレテ我々末輩ハナカナカ近寄レソウモナカツタノ  
 デスガ私ガコウシタ服裝デ先生ノ前ニ立チマスト一瞬間皮肉ナ相恰ガ滿面ニアフレテ無言  
 ノ凝視！ 私ノ日ゴロオソレテオツタソノママノ凝視！ 私ハ帽子ヲモツタママ全ク軍隊  
 式ニ行儀正シク氣ヲ付けノ姿勢ニカヘリマシタ。シカシアハタダシイ雲行キハツカノ間ニ  
 變轉シテ先生ノオ顔ハ慈愛ソノモノノヤウナ形相ニウチカハリ、眼ニハ確カニ涙ノ露ヲ認  
 メマシタ。私ハ小サナ聲デ今一度申シマシタ。

「御機嫌ヨロシウ」

先生ハウツ向イタママ申シマシタ。

「御機嫌ヨウ」

誰カコノツカノ間ノ光景ヲ活動寫眞ニトツテオイタラ先生ノコノ時ノ表情コソハ如何ナル  
 名優ニモオサオサ劣ルマジキ傑作トシテ遺ツタデアロウ。

私ハ會ガ濟ンデカラソノママスグ歸宅スルノガ何ダカ惜シイヤウナ氣ガシテ新京極ノ方  
 ヲ廻リマシタ。ソシテ其頃新築サレタ松竹座ヘ入ツテ活動寫眞ヲ見マシタ。私ノ氣ドツタ  
 格恰ハ誰ニモ眼ニツイタモノトミエマス。歸ツテ見ルトフロツクコートノ内ポケットニ入  
 レテオイタ財布ガナクナツテキマシタ。

オハリ



## 第三十回近畿外科集談會

昭和5年6月8日(日曜日)午前8時開會京都帝國大學樂友會館

## 演 題

- |  |     |                 |
|--|-----|-----------------|
| 1. 癌腫轉移ニヨル大腿骨折   | 京 都 | 赤 木 四 郎 藏       |
| 2. <u>デュビュイトラン氏</u> 攣縮ニ就テ  | 京 都 | 内 田 住 夫         |
| 3. 骨髓炎遺殘死腔新充填法ニヨル三例驗例  | 京 都 | 山 根 齊           |
| 4. 幼年者ニ來レル一種ノ脱疽  | 京 都 | 櫻 井 雅 四 郎       |
| 5. 骨腫標本及ビ患者供覽  | 大 阪 | 濱 光 治           |
| 6. 結核性栓塞性靜脈炎   | 大 阪 | 岡 部 精 一         |
| 7. 孤立性大轉子結核ニ就テ   | 大 阪 | 角 田 博           |
| 8. 運動ガ實驗的 <u>バーロー氏</u> 病骨變化ニ及ボス影響ニ就テ                                     | 大 阪 | 渡 邊 一 九         |
| 9. 慢性單純炎症性顎下腺腫ニ就テ  | 大 阪 | 兼 松 德 次 郎       |
| 10. 齒牙ノ壓迫ニヨル顏神經痛ニ就テ  | 京 都 | 近 藤 銳 矢         |
| 11. 精系ノ原發性肉腫ニ就テ  | 京 都 | 濱 田 稻 積         |
| 12. 子宮及輸卵管ヲ内容トセル「ヘルニア」ノ一例  | 伏 見 | 故 倉 護           |
| 13. 遊走腎ト誤レル <i>Ligula mansonii</i> ニ就テ                                   | 今 治 | 河 野 要           |
| 14. 診斷上興味アル腎盂穿孔ニヨル腎臟周圍膿瘍ノ一例、<br>附「 <u>ビエログラム</u> 」供覽                     | 大 阪 | 富 士 原 誠 一       |
| 15. 加温ニヨルX線乾板感光度増強法  | 大 阪 | 井 上 喜 雄         |
| 16. 「 <u>リプイオドール</u> 」注入ニヨル膽道X線検査(家兎肝臓内<br>「 <u>リプイオドール</u> 」注入ニヨルX線寫眞像) | 大 阪 | 井 上 喜 雄         |
| 17. 腰窩部X線深部照射ニヨル下肢流血量ニ就テ   | 京 都 | 大 賀 澤 來 隆 達 美   |
| 18. 血管容量測定法ニヨル特發脱疽ノ交感神經手術並ニX線<br>深部照射療法ノ比較                               | 京 都 | 神 部 信 雄         |
| 19. 諸種藥物ノ腦循環ニ及ボス影響ニ就テ  | 京 都 | 來 須 田 正 昌 男 直   |
| 20. 腦溢血症狀ノ恢復機轉ニ關スル疑義   | 京 都 | 伊 濱 藤 良 弘 三     |
| 21. 急性膿胸ノ療法及ビ器具供覽  | 大 阪 | 吉 岡 繁 雄 一       |
| 22. 平壓開胸術ニヨル結核性肋膜炎ノ治療法   | 京 都 | 藤 浪 修           |
| 23. 平壓開胸術ノ下ニ胸壁切除筋膜移植ヲ施シタル乳腺肉腫<br>ノ一例                                     | 京 都 | 青 柳 安 誠         |
| 24. 胃腸吻合縫合術式ニ就テ  | 京 都 | 大 賀 澤 來 隆 達 美   |
| 25. 腸重積症ノ統計的觀察   | 大 阪 | 今 西 三 郎         |
| 26. 腸管ニ交通セル臍癭ヘノ腸重疊症  | 神 戶 | 熊 野 政 明         |
| 27. 致命的蟲様突起炎ノ症候診斷及ビ其療法   | 神 戶 | 勝 呂 學           |
| 28. 所謂瓦斯腹膜炎ノ二例   | 神 戶 | 鈴 熊 木 野 正 政 次 明 |
| 29. 所謂瓦斯腹膜炎ニ就テノ疑義  | 伏 見 | 阿 部 四 郎         |
| 30. 大腸ノ一疾患   | 京 都 | 櫻 井 雅 四 郎       |

- |  |                |         |
|--|----------------|---------|
| 31. 結腸過長症 = 就テ                                     | 大 阪 島          | 薰       |
| 32. 廻腸S字結腸吻合 = ヨル大腸曠置術 = 就テ特 = 術後ノ逆<br>行的糞塊鬱滯 = 就テ | 大 阪 向 坂        | 進 信     |
| 33. 直腸狹窄症ヲ呈セル重複結腸ノ一例                               | 京 都 赤 木        | 嘉 聞     |
| 34. 高度ナル直腸脱ノ藥物療法 = ヨル一治驗例                          | 宇治山田 畑         | 正 英     |
| 35. 腹腔局所免疫 = 就テ                                    | 大 阪 赤 土        | 正 英     |
| 36. 經口免疫法 = ヨル腸管免疫獲得程度                             | 大 阪 赤 土        | 正 英     |
| 37. 消化器系ノ内外科領域疾患ト經口免疫                              | 大 阪 中 川        | 三 朗     |
| 38. 家兔腹腔内腸管運動ノ一新描畫法 = 就テ                           | 京 都 矢 田 貝      | 薰 治     |
| 39. 浣腸ノ小腸運動ニ及ボス影響                                  | 京 都 山 本        | 明 三 郎   |
| 40. 困難症狀ヲ伴ハザル炎性膽石 = 就テ                             | 大 阪 奥 村 哲      | 三 郎     |
| 41. 膽石症ノ一異例(標本供覧)                                  | 津 藤 森 鶴 龜      | 曆       |
| 42. 電氣的醫科器械 = 就テ                                   | 京 都 齋 藤        | 大 雅     |
| 43. 腰髄麻酔ノ腸管機能ニ及ボス影響                                | 京 都 島 岩        | 武 次     |
| 44. 「ペルカイン」局所麻酔 = 就テ                               | 京 都 神 部        | 信 雄     |
| 45. 軟性下疳菌煮沸免疫元ノ治療の效果                               | 大 阪 村 田        | 辰 次     |
| 46. 創傷治療ニ於ケル余ガ銀劑ノ物理化學の意味トソノ電氣<br>化學の比較研究           | 堺 竹 林          | 弘       |
| 47. 色素性殺菌劑ノ經口の應用 = 就テ                              | 大 阪 勝 部        | 育 郎     |
| 48. 新廻轉縋帶法 = 就テ                                    | 大 阪 中 村        | 一 郎     |
| 49. 皮膚緊張 = ヨル諸上皮植皮術ノ成績 = 就テ                        | 大 阪 堀 福 原      | 貞 正 雄 義 |
| 50. 腸管ヲ有スル畸形腫                                      | 倉 敷 山 崎        | 直 治     |
| 演題追加 (締切後申込ノ分)                                     |                |         |
| 51. 脱疽患者ノ動脈レ線像 = 就テ                                | 名古屋 齋 藤        | 真 格 吉   |
|  |                | 一 秀     |
| 52. 腰薦部交感神經節狀索ノ腹膜外術式 = 就テ                          | 京 都 木 口        | 直 二     |
| 特別講演   |                |         |
| 歐米ニ於ケル理學的療法  | 京都帝國大學助教授 醫學博士 | 岩 井 孝 義 |

## 獨逸國內外科學會

獨逸國內ニ於ケル本年度(4月1日ヨリ9月30日迄ノ)ノ主ナル外科學會日割及ビ宿題報告者ハ大略下記ノ様ナモノデアル。

## ○ 4月23日—26日 獨逸外科學會

宿 題

報 告 者

Blutung-Blutstillung und Blutungsverhütung.

Stich, Göttingen

Chirurgie der Wirbelsäule.

Schmieden, Frankfurt. a. M.

○ 6月13日—14日 北西獨逸外科學會 於グライフスワルド

Trepantation, Naht und Unterbindungsmaterial.

Pels = Leusden.

Verbrennungen, ischaemische Contracturen.

Wachstumsstörungen bei operativ behandelten

Vorderarmbrüchen.

Reschke, Greifswald.

Über septische Allgemeininfektion.

Busello, Greifswald.

Über Blutzuckerbestimmung vor und nach  
der Operation.

Wachstumsstörungen nach Bestrahlungen.

Kingreen, Greifswald.

Über Blasendivertikel.

Engler, Greifswald.

Über Mammatumoren.

Fischer, Rostock.

○ 6月21日—22日 南東及中部獨逸外科學會 於ドレスデン

Die patholog. Anatomie der Wirbelbandscheiben.

Schmorl, Dresden.

Die spastischen Zustände im Verdauungstractus.

Lehmann, Frankfurt. a. M.

○ 6月28日 中部ライン外科學會 於バーゼル○ 7月12日—13日 ライン下流外科學會 於エツセン

Praktische Gesichtspunkte in der Diagnose und

Therapie der Knochen-und Gelenktuberculose.

Keppeler

○ 7月26日 バイエル外科學會 於ミュンヘン○ 9月8日 北東外科學會 於ケーニヒベルグ